



2010年(平成22年)10月26日(火曜日)

東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

現場で生の声 商店街活性化

世田谷まちづくり研究発表会

世田谷区内の商店街(千代田区)で開かれた。書類審査で選ばれた十チームが最終審査に臨み、東京商工会議所沿線の商店街の活性化

最優秀賞に明大・市川ゼミ



まちづくりについて発表する学生たち—千代田区で

日、東京商工会議所沿線の商店街の活性化

大・市川ゼミが最優秀賞に決まった。

大学生の商店街研究は、同会議所が二〇〇六年度から毎年異なる区で実施。学生の視点

について提案した明治大・市川ゼミが最優秀賞に決まった。

最優秀の明大・市川ゼミは、三軒茶屋、下高井戸駅以外の世田谷線の駅周辺にある商店街の活性化策を検討。

対象地域は区内全域に及び、観光地や住宅地など、場所によって観点もさまざま。散歩道の整備や地域通貨の導入など、理系、文系の学生の両方から提案があり、発表会では、大学教員や商店街代表らの審査員が学生に質問を浴びせた。

10月24日(日)、丸の内の東京商工会議所で開催された2010年度「大学・地域の協働による学生まちづくりプレゼンテーション大会」(主催:東京商工会議所/共催:世田谷区・せたがや自治政策研究所・世田谷商店街連合会)の記事。

からまちづくりへの提案を受け、学生が商店街に関心を持つ機会をつくるのが狙いだ。本年度は、世田谷区内の三大学を含む十一大学の十七チームが参加。夏休みなどを利用して商店主らの生の声を聞き取った。対象地域は区内全域に及び、観光地や住宅地など、場所によって観点もさまざま。散歩道の整備や地域通貨の導入など、理系、文系の学生の両方から提案があり、発表会では、大学教員や商店街代表らの審査員が学生に質問を浴びせた。

毎月、どこかの商店街でイベントを開くことを提案した。優秀賞は散歩ルートを観光コースにしようという駒沢大・松本ゼミ、特別賞は日本大・後藤ゼミと跡見学園女子大・芝原ゼミ。表彰式は、十二月九日に北沢タウンホール(同区北沢)で行われる。(松村裕子)

17の大学生・大学院生チームがエントリーし、第一次審査(書類選考)を通った10チームがプレゼンと質疑応答を行い、明治大学市川ゼミが最優秀賞(第1位)、駒澤大学松本ゼミが優秀賞(第2位)、日本大学後藤ゼミ・跡見学園女子大芝原ゼミが特別賞(第3位)を受賞しました。後藤ゼミのテーマは「まちかドライブを起点とする商店街活性化の社会実験—地域資源としての地元大学生と商店街との『ご縁』の創出—」というものです。記事に掲載されている写真は、後藤ゼミの学生がプレゼンしている場面です。